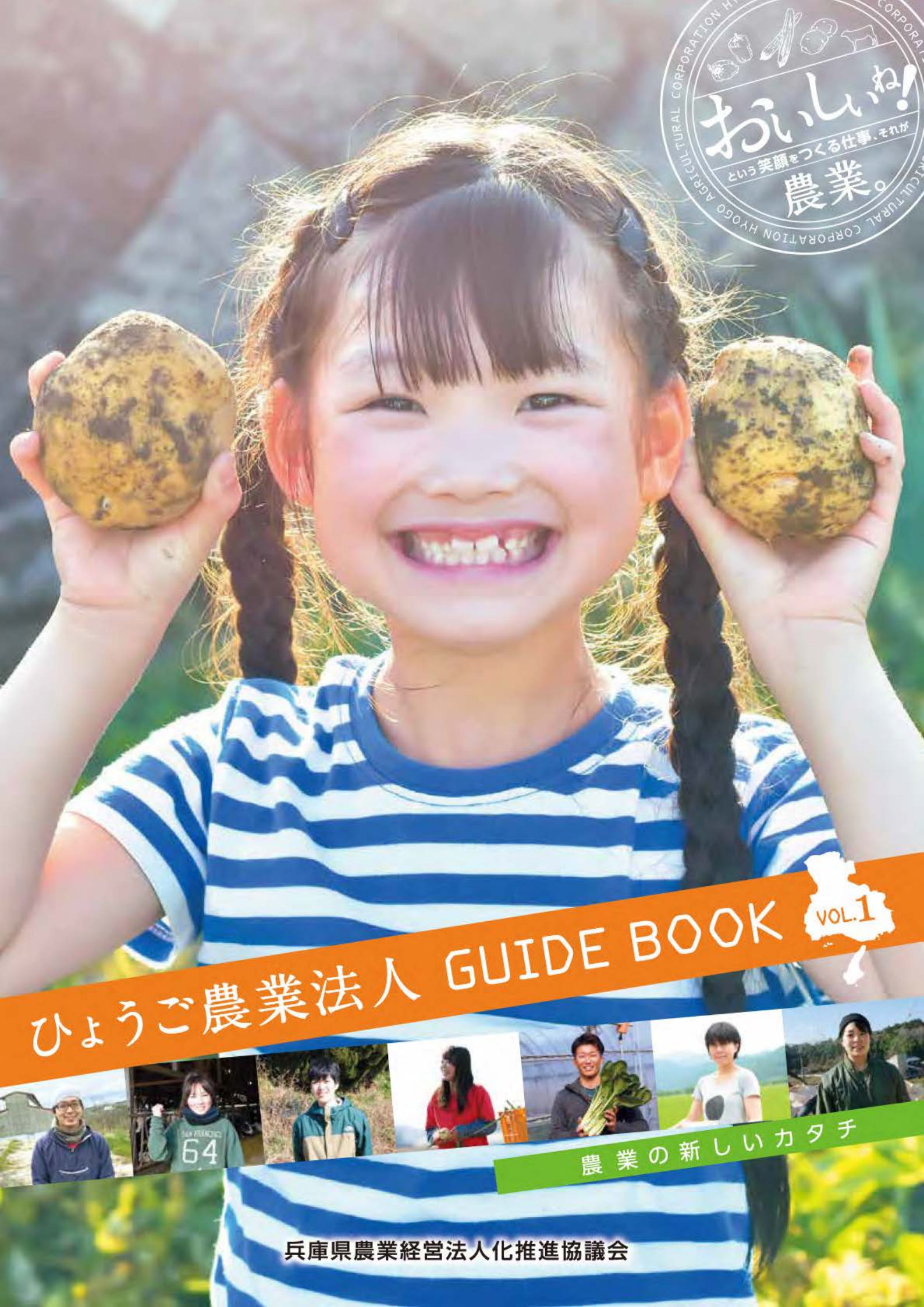




ひょうご農業法人 GUIDE BOOK VOL.1



農業の新しいカタチ

兵庫県農業経営法人化推進協議会



家業から企業へ、農業の新しいカタチ

企業として農業を営む、農業法人。

家業として受け継がれてきた農業を法人化したり、新規就農者が法人を立ち上げて就農したりと、

さまざまなケースでの農業法人が誕生しています。

企業経営の中で、経営方法や働き方などが大幅に見直され、若者の就職の場としても注目されています。

この冊子では、兵庫県内で奮闘している農業法人の一部を紹介します。

CONTENTS

摂津

神戸市 株式会社 神戸牛牧場 畜産 3

三田市 株式会社 おおにし農園 野菜 4

播磨

加古川市 株式会社 LEAD (リード) 野菜 5

小野市 有限会社 ジローズデイリーファーム 畜産 6

三木市 有限会社 みずほ協同農園 野菜 7

加西市 株式会社 兵庫ネクストファーム 野菜 8

加西市 農事組合法人 玉野町営農組合 土地利用 9

加東市 株式会社 玄米家 土地利用 10

多可郡多可町 株式会社 箸荷 (はせがい) 牧場 畜産 11

姫路市 株式会社 グリーンひょうご西 土地利用(受託) 12

姫路市 株式会社 東原畜産 畜産 13

姫路市 有限会社 夢前夢工房 複合 14

相生市 深山農園株式会社 きのこと 15



赤穂市 株式会社 丸尾牧場 畜産 16

赤穂郡上郡町 株式会社 杉本農産 土地利用 17

赤穂郡上郡町 株式会社 山上畜産 畜産 18

但馬

豊岡市 有限会社 あした 土地利用 19

美方郡新温泉町 株式会社 但馬中井畜産 畜産 20

養父市 有限会社 アグリハイランド金谷 野菜 21

丹波

丹波市 株式会社 芦田ポートリー 畜産 22

丹波市 株式会社 丹波たかみ農場 土地利用 23

丹波市 農業生産法人 丹波リーフ株式会社 野菜 24

篠山市 株式会社 丹波篠山岸本農場 土地利用 25

淡路

南あわじ市 2525 (ニコニコ) ファーム 淡路島希望食品有限会社 野菜 26

淡路市 農事組合法人 北淡路肉用牛生産組合 畜産 27

摂津

三田市 丸永株式会社 畜産 28

播磨

加東市 株式会社 こうせつ・たなか 土地利用 28

多可郡多可町 株式会社 あぐりたか 土地利用 28

姫路市 株式会社 香寺ハーブ・ガーデン 工業産物 28

姫路市 有限会社 村上ポートリー 畜産 28

姫路市 株式会社 田中牧場 畜産 28

赤穂市 有限会社 米ログリーンナーセリー 花き 28

赤穂市 株式会社 デイリーエッグ 畜産 28

佐用郡佐用町 株式会社 山本営農 土地利用 28

佐用郡佐用町 株式会社 みかづきe 土地利用 29

佐用郡佐用町 東徳久地区農事組合法人 土地利用 29

相生市 株式会社 百姓 土地利用 29

たつの市 株式会社 J・McCoy 土地利用 29

たつの市 株式会社 ささ営農 野菜 29

宍粟市 一般財団法人 宍粟北みどり農林公社 土地利用(受託) 29

但馬

美方郡香美町 美方ファーム株式会社 畜産 29

美方郡香美町 株式会社 上田畜産 畜産 29

美方郡香美町 株式会社 ナナ 野菜 29

美方郡新温泉町 株式会社 湯村温泉愛宕山観光 土地利用 29

丹波

丹波市 有限会社 ワタミファーム 丹波農場 野菜 30

丹波市 神戸高見牛牧場株式会社 畜産 30

丹波市 株式会社 パブリック・キッチン 野菜 30

丹波市 株式会社 竹岡農園 野菜 30

丹波市 有限会社 こやま園 なた豆 30

篠山市 株式会社 丹波篠山大内農場 土地利用 30



神戸市西区 株式会社 神戸牛牧場



4 品種の牛、約4600頭を肥育 神戸の立地を生かした事業展開

神戸市西区の山間の櫛谷で、6戸の農家が1968年に農事組合法人 神戸牛牧場を設立。ホルスタイン種の肥育から始まり、以来50年。現在では、黒毛和種とアンガス種を交配した肉用専用種「六甲牛」、黒毛和種の「六甲和牛」、交雑種の「神戸・六甲姫牛」をオリジナルブランドとして提供。但馬牛とオリジナルブランド3種の4品種約4600頭を、11haもの広大な敷地で飼育しています。精肉販売店2店（西区櫛谷、東灘区御影）とオンラインショップも展開。三代目取締役社長の藤本昭宏さんは、牧場の臭いの軽減や、牛糞発酵堆肥を安価で販売するなど、環境保全にも力を入れています。

働く人のINTERVIEW



阿部 裕章さん(27歳)

この道に入って5年目です。現在はエサを作るのがメインの仕事。仕事はゴールがなく、ずっと勉強だと思っています。直売店で直接消費者に触れ合う仕事にも、興味があります。



袴田 紗也佳さん(36歳)

兵庫県立農業高校で酪農を学びました。アパレル業界から回り道をして、2018年5月に当牧場に就職。牛が好きですね。但馬牛の担当で、常に神戸ビーフを出すのが目標です。

INTERVIEW OF TOP



牛に関わる全てのことに携わりたい 企業として継続的な成長を

株式会社 神戸牛牧場 代表取締役 藤本 昭宏さん

直売店・オンラインショップの次は、肉料理の店を開店できたら…。バイオガス発電や繁殖・酪農にも挑戦したい。牛に関わる全てのことを一貫して携わることで、従業員の仕事の幅が広がり、企業として継続的に繁栄できると考えます。

所在地 〒651-2231
神戸市西区櫛谷町寺谷1242-60
電話 078-991-0171
FAX 078-991-0259
HP <http://www.kobe-ushi.jp/>
事業内容 肉牛肥育、精肉販売
設立 1968年
資本金 780万円
売上高 非公表
従業員数 49名



三田市 株式会社 おおにし農園

私たちの思い

おいしく食べてもらえるよう、丹精込めて米や野菜を作り、農薬をできるだけ使わずに、安心・安全な野菜を届けています。野菜を通じたコミュニケーションを大切にしています。

私たちのこだわり

米をはじめ、季節ごとの野菜を多品種栽培しています。採れたての野菜を味わっていただきたいので、農園での販売や、東京など消費者への宅配にも対応しています。

おもな作物

米はどんとこい、ヒノヒカリ、コシヒカリ、香り米の4品種。野菜は旬を大切に、四季それぞれにできる野菜を数多く作っています。三田特産の黒大豆・うども栽培しています。



外観



働く人のINTERVIEW



徳毛 小春さん(21歳)

中学のトライアルウィークで農業を体験し、「楽しい」と感動。就農を目指し、兵庫県立有馬高校人と自然科から兵庫県立農業大学校に進み、現在研修中です。自分の畑を持つのが夢。



佐藤 文博さん(38歳)

宮城県出身で、アパレル系サラリーマンから、2016年ごろから農業へ転身の準備を始めました。2018年10月からおおにし農園で、農の雇用事業を利用してお世話になっています。

INTERVIEW OF TOP



下深田はうどの発祥の地 三田産野菜を広めていきたい

株式会社 おおにし農園 代表者 大西 則和さん

(おおにし農園がある)下深田はうどの発祥の地で、かつては12軒の農家がありましたが、高齢化でほとんどの農家が辞めてしまいました。うどをはじめ、三田産の野菜を広めていき、「三田」をアピールしたいと思っています。

所在地 〒669-1543
三田市下深田475
電話 090-5900-9007
FAX 079-562-4136
HP <https://www.onishi-farm.com>
事業内容 農作物の生産、販売、加工品販売
設立 2015年
資本金 200万円
売上高 1300万円～1400万円(年間)
従業員数 6名



加古川市 株式会社 LEAD (リード)



私たちの思い

「農業は食を育み、健康で元気な人をつくる糧となる」という思いを原点に、地域の食を育んでいるという自覚、人とのつながり、地産地消を大切にしています。

私たちのこだわり

葉物野菜はシャキッとした鮮度が味にも影響します。究極の鮮度感で出荷できるように、作物の様子を毎日丁寧に観察し、肥料や水やりのタイミングも工夫しています。

おもな作物

1年を通して、こまつな約28t、みずな約28t、ルッコラ約4.5t、紫みずな約4.5t、わさび菜約4.5tを収穫。スーパーや百貨店、卸売市場、レストランなどへ出荷。



外観



農 作物が持つ本来の生命力を大切に 地域で愛される葉物野菜を栽培

東播磨地域の加古川市に5棟、稲美町に15棟のビニールハウスを設置し、葉物野菜を生産する株式会社 LEAD。順調な経営の陰には、24歳で祖父の畑を継ぐことになった都倉貴博代表のひとりのつながりを大切に農業の経験、知識を深めていった「人間力」があります。自社作物は「地域の食」と意識して、高品質な生育のためハウス内には換気システムを導入。収穫前は鮮度を保持するため遮光シートを全面に貼るなど、労力と研究を惜しみません。また、WEBサイト「東播磨のおくどさん」に参画したり、ママサークルと活動を共にしたりなど、多面から地域を元気にする頼もしい企業です。

働く人の INTERVIEW



吉岡 航輝さん(22歳)

兵庫県立農業高校から八ヶ岳中央農業実践大学(長野県)を卒業。就職は地元希望だったので当社で1カ月のインターンを経て就職しました。毎日やりがいを感じながら楽しく働いています。



松田 紗耶加さん(27歳)

兵庫県立農業高校から兵庫県立農業大学校へ進学。大学時代に都倉代表が所属する農業青年クラブと交流があり当社を知りました。実家のいなり野メロンやほうれんそうの栽培と両立しています。

INTERVIEW OF TOP



安心して農業で暮らせる企業体を目指しています

株式会社 LEAD 代表者 都倉 貴博さん

将来的には、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する優良企業に与えられる世界共通ブランド「グローバルギャップ」を取得したいです。安心して働ける環境づくりに取り組みます。

所在地 〒675-1233
加古川市平荘町池尻304番地
電話 079-441-7935
FAX 079-428-0538
HP <http://www.lead-to-happiness.com/>
事業内容 野菜の生産・販売
設立 2014年
資本金 300万円
売上高 約3000万円(年間)
従業員数 2名(内1名は2019年新卒採用)、パート9名



インターンシップについて
受け入れ可能。時期、日数などは電話で問い合わせください。宿泊不可。

小野市 有限会社 ジローズデイルーフーム



私たちの思い

「高品質の牛乳を提供するのは当たり前」という強い思いを持っています。牛が心地よい環境の中で、多くの牛乳を出せるようにAIと人の目で健康管理を徹底しています。

私たちのこだわり

アメリカ、イスラエル、ヨーロッパ諸国の先進事例の情報を収集し、日本の環境、風土に合うように変換。向上心を持って新しい取り組みにチャレンジしています。

おもな産品

年間およそ700tの牛乳を株式会社共進牧場へ出荷しています。阪神間の学校給食の牛乳として消費されます。安全安心の高品質で児童の成長に貢献しています。



外観



建設中の新牛舎



最 先端技術「AI」を搭載した牛舎で 経営拡大への勢いはますます加速

小野市のゴルフ場に囲まれた丘陵地に、ジローズデイルーフームはあります。1971年、藤原次郎さんが酪農を始め、搾乳牛約70頭、育成牛等を含め約150頭を飼育しています。一時は後継者問題で廃業も考えていましたが、2015年、現代表の太一郎さんが家業を継ぐことに。「会社員を10年間続け、家族と一緒に過ごす時間の少なさなど、暮らし方に疑問がありました。家業ならやり方次第で労働時間を短縮した上、収益も伸ばし、豊かな暮らしにつながるのではと思いました」。太一郎さんという後継者を得て、同社は事業拡大を決意。2019年春、4000㎡もの面積で、AI(人工知能)が栄養、繁殖、環境を管理する新牛舎が本格始動。5年後には300頭の飼育を目指しています。

働く人の INTERVIEW



藤原 美佳さん(33歳)

子育てと両立しながら、2018年から嫁ぎ先の当社で働き始めました。もともとドッグトレーナーで動物好きです。子牛は体調を崩しやすいので、哺乳の時によく観察して健康管理に努めています。



波多野 あゆさん(21歳)

京都出身で中国四国酪農大(岡山県)を卒業し、2017年に就職しました。担当は、エサづくり、搾乳、哺乳です。搾乳では菌が牛乳に入らないように乳頭をよく拭き、衛生面に気を配っています。

INTERVIEW OF TOP



業界の地位向上とイメージアップで 魅力ある酪農を次世代へ

有限会社 ジローズデイルーフーム 代表者 藤原 太一郎さん

「酪農、畜産などを含む第一次産業の社会的地位の向上」、「畜産業界へ対するイメージの改革」、「次世代へ魅力ある酪農経営モデルとなる」、この3つの目標を実現できるように、未来を見据え、日々邁進しています。

所在地 〒675-1312
小野市栄町34
電話 0794-63-3052
FAX 0794-63-3444
事業内容 乳牛飼育、牛乳販売、子牛販売、廃用牛販売
設立 2002年
資本金 300万円
売上高 約1億4000万円(年間)
従業員数 2名

インターンシップについて
通年受け入れ可能。時期、日数、宿泊などは電話で問い合わせください。



私たちの思い

リサイクル堆肥による土づくりと減農薬栽培に取り組んでいます。また、出荷作物の栽培履歴を説明できることで、消費者と生産者が信頼し合える関係性を大切にしています。

私たちのこだわり

コープこうべ組合員が参加できる農業体験やエコファーム講座などを開設し、消費者と生産者が一緒に学び、体験することで、次世代へ伝えたい農業を推進しています。

おもな作物

こまつな、青ねぎ、ミニトマト、トマト、ブロッコリー、きくな、だいこん、ほうれんそうを、「コープこうべ鳴尾浜農産センター」と「コープデイズ神戸北町店」へ出荷しています。



外観



資源が循環する栽培サイクルで豊かな農業、自然、暮らしを次世代へ

中国自動車道「吉川IC」、山陽自動車道「三木東IC」からいずれも車で20分前後、利便性に優れた丘陵地に有限会社 みずほ協同農園はあります。コープこうべのプライベートブランド「フードプラン」の野菜を11haの農地で生産しています。同園の特長は「環境共生型農業」。コープこうべの店舗から出る野菜や肉の加工くずを利用し、敷地内にあるコープ土づくりセンターで有機質堆肥をつくり、その堆肥から安全、安心な野菜を栽培。資源が土と緑、暮らしを循環する地球にやさしい農業を実践しています。また、未来の社会システムが環境保全を目指したものに変わるようお願いを込め、組合員対象に農業を体験して学習できるプログラム等も開催しています。

働く人のINTERVIEW



盛野 寛さん(27歳)

兵庫県立農業大学校の農家派遣実習で当社を訪れました。卒業後、県の新規就農支援事業を利用し1年の研修を経て正社員に。農作物の生育に欠かせない土づくりをもっと極めたいです。



松本 真希さん(27歳)

兵庫県立農業大学校卒業。栽培計画や作業計画を立てたり、栽培管理を担当しています。毎日のかん水作業時に農作物の状態を細かく観察。しっかり育てた農産物が出荷を迎える時に喜びを感じます。

INTERVIEW OF TOP



若手職員が中心となって働ける職場づくりを目指して

有限会社 みずほ協同農園 代表者 寺下 晃さん

若い社員が中心となって支える会社組織を目指しています。正社員は全員20歳代。現場での作業を通して、日々学びながら成長しています。野菜を愛する心を持ち、責任を持って栽培できる人の応募を待っています。

所在地 〒673-0701
三木市細川町瑞穂2328-1
電話 0794-88-3366
FAX 0794-88-3368
HP <https://eco.coop-kobe.net/ecofarm/>
※コープこうべHP内「エコファーム」ページ



事業内容 野菜の生産・販売、農業体験
設立 1998年
資本金 500万円
売上高 7400万円(年間)
従業員数 9名、シルバー派遣9名

インターンシップについて
有限会社 みずほ協同農園のインターン制度は、通年受け入れ可能。時期や日数は問い合わせてください。宿泊不可。

私たちの思い

従業員が「安心」を感じて、「誇り」を持って働くことができる会社を目指しています。また、消費者や地域の人々に貢献できる価値ある産業の創出を図ります。

私たちのこだわり

環境に優しい農業を実践するため、兵庫県産の間伐材から作った木質チップを暖房燃料にしています。化石燃料使用量30%以上の削減を目指しています。

おもな作物

ミニトマトの「スプラッシュ」と「カーリーナ」、大玉トマト「もりたろう」、中玉トマト「ごちそうトマト」の4品種。年間約800tを「ひょうごごこくとま」とのブランド名で出荷。



外観



トマトを見つめ寄り添う「人」と環境を制御する「IT」が融合する植物工場

加西市鶯野(うずらの)の丘陵地帯にある兵庫ネクストファームは、農林水産省が推進する「次世代施設園芸導入加速化支援事業」の兵庫県拠点として誕生しました。3.6haの広大なハウス内は温度、湿度、二酸化炭素などをデータ管理し、システムによって最適な栽培環境を作り出す「統合環境制御技術」が導入されています。これにより高品質、高収量、4定生産(定時・定量・定品質・定価格)を実現。消費者からも「値段が手頃でおいしい」と好評です。優秀なこの技術を管理するのはもちろん人。トマトに寄り添い、樹勢や病気の前兆に気付くのは人の力があってこそ。広大なハウス園芸施設には、新しい農業のカタチを一緒に創っていく人たちの熱意があふれています。

働く人のINTERVIEW



田邊 寛さん(28歳)

中学から生物が好きで、食品を扱う仕事に就きたいと思っていました。兵庫県立農業高校から大学の農学部へ進学。卒業後は食肉加工会社を経て、2016年に入社しました。日々のデータ管理と検証により栽培現場を把握する当社での業務にやりがいと責任感を感じています。

INTERVIEW OF TOP



作物を育てる喜びを一緒に共有できる人材を求めています

株式会社 兵庫ネクストファーム 取締役 中村 朋記さん

ITを活用した栽培方法であっても収穫ごとに生産物の品質は違ってきます。農業に携わる者にとって大切なことは「日々成長する農産物を育てている」という意識です。新人育成には、関連会社と連携し同世代による勉強会を定期的に開催。栽培現場ではマンツーマンで丁寧に指導しています。新しい農業に挑戦するという高い志と協調性を持って働いてくれる人を募集しています。

所在地 〒675-1233
加西市鶯野町1998番地
電話 0790-20-4734
FAX 0790-20-4735
HP <http://hyogo-nextfarm.co.jp/>
事業内容 トマトの生産・販売
設立 2014年
資本金 1000万円
売上高 4億5000万円(年間)
従業員数 10名、パート115名



インターンシップについて
年間を通じて受け入れ可能。詳細は問い合わせください。宿泊不可。

加西市
農事組合法人 玉野町営農組合



私たちの思い

「みんなの農地、みんなで守ろう」をスローガンに、大型農機を駆使して「汚れない、暑くない、寒くない」快適環境で働ける農業を目指しています。

私たちのこだわり

最新の栽培方法でコストを最大限まで抑えた儲かる農業を地域の営農団体に提案しています。お互いが向上することで地域農業を元気にしたいです。

おもな作物

水稻(キヌヒカリ、ヒノヒカリ、山田錦、タチハルカ、コシヒカリ、かぐや姫、あきだわら)、大麦、小麦、大豆、小豆、とうもろこし、にんにく(試作中)。



外観



新 技術の導入と低コスト化による
農地経営管理で注目度大

組合員数109戸、法人経営面積44.8haを有する玉野町営農組合は、中国自動車道加西IC近くにあり。1998年のほ場整備をきっかけに大型農機を多数保有。労力と作業時間を軽減することで低コスト化を図り、利益追求型農業に成功しています。農業の未来を変えたいという小倉政弘代表は、全国でも珍しい水稻直播や地下かんがいシステム、大豆狭条密植などの新技術を積極的に導入。また安全安心への意識も高く、化学肥料、農薬の使用量を50%減で栽培しています。2019年度には国際規格ASIAGAP(アジアギャップ)を取得予定。一歩先行く同営農組合の動向に注目が集まっています。

働く人の INTERVIEW



高井 淳匡さん(45歳)

JA(農業協同組合)を退職後、国の緊急支援事業を利用し、1年間玉野町営農組合で技術を学びました。2年半ほど加古川市の(農)八幡営農組合で大規模営農組合のノウハウを学び、2015年玉野町営農組合に復帰。地元である加西市の農業を変えていきたいと思っています。

所在地 〒679-0107
加西市玉野町1348
電話 0790-47-0949
FAX 0790-20-7606
HP <http://tamanoeinoukumiai.blog.fc2.com/>
事業内容 野菜の生産、販売、穀物乾燥調製
設立 2010年
資本金 452万円
売上高 8686万円
(2017年12月期)
従業員数 1名、オペレーター30名



インターンシップについて
受け入れ可能。5月の連休時期だと水稻直播による最新の田植えを学べます。6月1日～末日までは通常の田植えでの受け入れです。その他の時期は問い合わせください。

INTERVIEW OF TOP



次世代がやりがいを持てる力強い農業を目指しています
農事組合法人 代表者 小倉 政弘さん

将来的には、当営農組合で技術を習得した若者たちに、高齢化の進む営農組合で活躍してもらい、加西市の農業を元気にしていきたいと思っています。加西市内でも土壌の違いで適地適作栽培ができていないことが多くあります。加西市に60ほどある営農組合が一丸となって収益を向上して、やりがいのある農業を若い世代に引き継ぐことが目標です。

加東市
株式会社 玄米家



私たちの思い

若い世代や社員の子供が働きたいと思える会社にしていきたい。そのために生産者には安定した価格で仕入れることで貢献、販売面はG-GAP取得をステップにさらに販路を拡大していきます。

私たちのこだわり

玄米家の経営は、シンプルかつ確がモットー。課題は先延ばしせず、意思決定から実行までは迅速に。あらゆるネットワークを駆使して即時解決にあたっています。

おもな作物

水稻は26haを営営し、生産量は年間約100t。出荷先は酒造、製茶、飼料メーカーなど。大麦は8haで同約20t、製茶メーカーへ。たまねぎは3.5haで同約130t、主にJAへ。



外観



山 田錦で全国初のG-GAPを取得
国際基準で地域、県、国の農業を牽引

酒米山田錦の里、加東市に株式会社 玄米家があります。ライスセンターと低温倉庫を運営し、地元農家の生産物も調整、保管。まだ37歳でありながら地域生産者と取引先メーカーとの調整をするなど現場を取り仕切る藤本善仁専務には、農業の将来を担い、地域に貢献していく使命感と強い意志を感じることができます。2018年には「食品安全」「労働安全」「環境保全」の3つの柱からなる適正農業規範の認証「グローバルギャップ」を取得。「グローバルギャップ認証取得により、高品質な兵庫県産山田錦にさらに「国際基準の安全管理」というアドバンテージを付加できました」と藤本専務。同社の発展とともに信頼性もますます向上しています。

働く人の INTERVIEW



宮脇 省平さん(39歳)

2012年に入社し、仕入れ、販売を担当しています。それまではIT企業に勤めていました。玄米家では前職での知識と経験を生かして、農作業や生産・在庫を管理するソフトウェアを自ら開発しました。管理ソフトを使用することで取り扱い量が大幅に増加。やりがいと責任を感じながらがんばっています。

所在地 〒673-1474
加東市牧野1871-9
電話 0795-43-9555
FAX 0795-43-9556
HP 公式フェイスブック:
「株式会社 玄米家」で検索
事業内容 穀物、野菜の生産、販売
設立 2005年
資本金 1000万円
売上高 非公表
従業員数 6名

INTERVIEW OF TOP



**玄米家は少数精鋭スタッフで、
地域農業も盛り上げます**
株式会社 玄米家 専務 藤本 善仁さん

従業員全員が向学心を持ち、経験や勘では補えない知識を学習によって貪欲に吸収しています。それぞれの従業員に担当部署を任せることで、少数精鋭の人材で最大の結果を生み出します。また、地域農業全体が良くなるように、コメ市場の動向や補助金制度、各ほ場に適した品種のアドバイスなど、地域生産者に向けて毎年説明会を開催しています。

インターンシップについて
5月～12月中旬までの10日間受け入れ可能。宿泊は不可。詳細は問い合わせください。

多可郡多可町

株式会社 箸荷(はせがい)牧場



私たちの思い

牛たちは私たちのホテルに宿泊しているお客様です。最高の環境で、最高の食事をしていただき、その対価として牛乳をいただいています。

私たちのこだわり

「お客様の声を聞く」ために、クラウドで管理するシステムを導入しています。なにか異変があれば、スタッフ全員にメールが送信され、すぐに対応ができる体制を整えています。

おもな産品

1日約11tの牛乳を毎日出荷しています。乳業メーカーによりパックに詰められ、関西圏に出荷されています。一部は近隣にある同社の6次産業部門wacca(ワッカ)へ。



外観



「牛」はお客様の精神と「最高級環境」の最強コンビで育む優良乳牛

自然豊かな多可町の山間部に株式会社 箸荷牧場があります。自由に動き回れるフリーストール牛舎で約500頭の乳牛を飼育。北海道でも約300頭を育成している県下最大のメガファームです。「牛にとって、最高のおもてなしをする五つ星ホテルを目指す」という思いのもと、日本でも数少ない牛が回って搾乳をする「ロータリーパーラー」や牛舎内を常に牛が過ごしやすい環境を作るための「ハイブリッド換気システム」、夏場は霧の気化熱で牛舎内温度を下げる「牛舎冷房装置」など、ホスピタリティと愛情を感じる快適環境を整備。牛を家畜と捉えない同社の姿勢は、企業が発展し続ける未来へとしっかりつながっています。

働く人の INTERVIEW



藤本 健太さん(25歳)

兵庫県立播磨農業高校から2012年入社。人工授精と分娩前後の管理をしています。年間約400頭を分娩させます。分娩前後は専用の牛舎があり、個体ごとに体調管理をし、ゆっくり休めるように努めています。



坂本 明里さん(22歳)

神戸動物専門学校から2017年入社。80～100頭の生後すぐの子牛を3カ月まで育てています。初乳をしっかり飲ませ病気を防ぎ、大きく元気に育てることにやりがいを感じています。

INTERVIEW OF TOP



つながりを大切に成長し続ける企業へ

株式会社 箸荷牧場 代表者 今中 克憲さん

牧場設立当時から地域の人々とのつながりを大切に、徐々に経営規模を拡大してきました。現在では、海外での視察を通じ、グローバルなつながりもできています。「人と人の繋がりを大切に、つながった全ての人たちが笑顔になれる」そんな企業を目指しています。

所在地 〒679-1334
多可郡多可町加美区
箸荷899
電話 0795-36-0281
FAX 0795-36-1390
HP <http://www.hasegai-dairy-farm.jp/>
事業内容 酪農業、乳製品製造販売
設立 1966年
資本金 523万円
売上高 6億3000万円(年間)
従業員数 18名



インターンシップについて
通年受け入れ可能。時期や日数は問い合わせください。宿泊不可。

姫路市

株式会社 グリーンひょうご西



私たちの思い

地域農業を支えることは元気な地域、豊かな地域づくりにつながります。一人一人が農家さんに寄り添い、「ありがとう」と言われる支援を心掛けています。

私たちのこだわり

JA専門部署の営農指導員による生産指導や育苗・精米・出荷など、JA兵庫西がもつ技術や設備を最大限に活用したサポートを行っています。

おもな作物

作業受託農地・経営農地を合わせて米350t、小麦100tをはじめ、大豆、小豆、そば、野菜類を生産。



外観



自らが担い手として地域の農業を守り 自然の恵みを未来につなげる

姫路市北東部の田園が広がる丘陵地帯、JA船津ライスセンター内にあるグリーンひょうご西。同社はJA兵庫西の子会社として、主に地域農業の担い手となる農作業受託事業と農業経営に取り組んでいます。姫路市内だけでも約250の農区がありますが、農地の減少や耕作放棄地の増加、後継者不足に悩む農区も少なくありません。グリーンひょうご西では、耕作困難な農家に代わって農作業を受託(作業面積約50ha)したり、自ら農産物を育てる農業経営(作付面積約80ha)を行っています。職員は栽培スケジュールに合わせ、農機具を携えて受託農地へ出勤。年間を通じて農家に寄り添うサポートをしています。

働く人の INTERVIEW



是川 晋也さん(34歳)

2009年入社。建築会社に勤めながら兼業農家である姫路の実家を手伝っていましたが、休耕田が増え地域の農業が衰退するのを見て、「地域の役に立とう」との思いで転職しました。自然の恵みを浴びながら一緒にがんばりましょう!



川端 知希さん(34歳)

中途採用募集に応募し2014年入社。モノを生み出すことをしたくて農業を仕事に選びました。農作業にはしんどい時や失敗もありますが、収穫という結果が出た時やがんばったことが成果につながるのやりがいがあります。

INTERVIEW OF TOP



地域農業を守り、農業で地域を元気にしましょう

株式会社 グリーンひょうご西 代表取締役社長 市村 幸太郎さん

当社はJA兵庫西と共に、「地域農業を守る」を基本方針に掲げ、農作業の請負や農地の管理を通じて地域農家の支援を行っています。農家の皆さんから頼りにされ、農業で地域を元気にする。そんな夢と使命感を持った人を歓迎します。

所在地 〒679-2101
姫路市船津町5275-10
電話 079-232-6711
FAX 079-232-6710
HP <http://www.ja-hyogonishi.com/service/life/green.html>

事業内容 農作業の受託、農産物の生産および販売ほか
設立 1995年
資本金 3000万円
売上高 1億7000万円(年間)
従業員数 14名



インターンシップについて
通年受け入れ可能。時期や日数は問い合わせください。



私たちの思い

「日本一のブランドポークを目指す」という気持ちを持って飼育しています。消費者に真のおいしいものを食べていただくために、人間に必要な不可欠な「食」を支える仕事としての誇りと使命感を持っています。

私たちのこだわり

淡路島(洲本市)に繁殖農場を所有。交配豚を飼育し、出産した子豚を姫路の養豚舎で育てています。

おもな産品

豚(三元豚)を年間約4000頭出荷。そのうち「桃色吐息」となる豚は約500頭。



外観



飼料のこだわりはもちろん、一番大切なのは清潔でストレスのない飼育環境

桃色吐息とネーミングされた姫路初のブランドポークの生産を2012年からスタート。「姫路ブランドポーク・桃色吐息」は兵庫県認証食品「ひょうご推奨ブランド」に認定され、地元の料理人や消費者に人気の食材に成長しました。原点には、東原社長の養豚に対するこだわりがあります。3品種の豚を交配させてつくられた三元豚の品種選定、独自の飼料、清潔でストレスのない環境づくりなど、手間も費用もかかる飼育にあえてチャレンジ。豚肉に脂がさらりとした上品な味わいと香りを生み出しました。豚は通常よりも30日ほど長く育てられ、「体格が良く、肉質も成熟する」と東原社長。「できることは徹底的にやる。誰がみても立派な豚肉を消費者に届けたい」。東原さんの熱い思いが伝わる養豚舎には、約1000頭の豚たちがスクスクと育っています。

働く人のINTERVIEW



森本 雄介さん(30歳・洲本市の繁殖農場勤務)

入社してからまだ1年少しですが、先輩に学びながら丈夫な品質のいい子豚を生産していきたいです。まだまだ課題がたくさんありますが、消費者の皆さんに喜ばれる子豚作りに力を入れ、年間出荷頭数5000頭を目標に先輩の皆さんの指導のもと一生懸命がんばっています。

所在地 〒670-0811
姫路市野里二本松51
電話 079-223-5300
FAX 079-223-5307
HP <https://www.momoirotoiki-himeji.com/>
事業内容 養豚業 豚の繁殖全般
設立 2010年(創業1953年)
資本金 500万円
売上高 1億6000万円(年間)
従業員数 5名



インターンシップについて
受け入れ可能。時期や日数は問い合わせください。

INTERVIEW OF TOP



「また食べたい」と思ってもらえるような良質なものを届けたい

株式会社 東原畜産 代表取締役 東原 聖雲さん

自社ブランド「桃色吐息」の知名度が上がり、「おいしい」という声が直接いただけるのはやりがいにつながります。新たな挑戦は大変なことも多いですが、がんばった分だけ評価が返ってくるので仕事が楽しくなります。一緒に「食」を支える仕事をしましょう。

私たちの思い

地域の環境と人々の健康を守るため、安全・安心な農産物の生産に取り組んでいます。「地産地消 新鮮なものを食卓へ」を目標とした「地域密着型農業」を進めています。

私たちのこだわり

農地を次の世代に残す責任があると考え、若手の育成にも力を入れています。これまで10名以上がここで研修を終え、独立したり家業を継いだりしています。

おもな作物

「ひょうご安心ブランド」認定のコシヒカリをはじめ、「夢そば」、小麦、小豆、大豆、たまねぎやとうもろこしなどの野菜、「ゆめさき苺」を栽培しています。



外観



無農薬栽培にいち早く着手 新しい農業のかたちを実践する

姫路駅から北へ車で25分、清流夢前川の両岸に農地が広がります。夢前夢工房は「安心して食べられる米や野菜を作りたい」と考えた衣笠愛之さんが1994年に設立。無農薬栽培に取り組む農家が全体の2~3%という時代に独学を重ね試行錯誤を繰り返し、米、小麦、野菜と徐々に種類を増やしていきました。1999年に法人化。日々の農作業のほか農業体験施設「夢やかた」の経営、とうもろこしやゆめさき苺の収穫体験事業も実施。直売所「夢街道farm67」でゆめさき苺を使った「ドデカ苺パフェ」を提供するなど、農業の六次産業化も進めています。

働く人のINTERVIEW



小山内果樹園 小山内 陽介さん(27歳)

兵庫県立農業高校、兵庫県立農業大学校で果樹を専攻。就職時に「ぶどうがやりたい」と言って、ぶどう園を作ってもらいました。今は独立し、ピオーネなどを栽培しています。



鈴木 陽輔さん(29歳)

米作りに興味があり兵庫県立播磨農業高校へ。卒業後は二輪車の整備を学びバイク屋で働きましたが、モノを直すより育てるほうがおもしろい。また農業に戻ってきました。

INTERVIEW OF TOP



新しい農業に対応できる柔軟な人材を育てたい

有限会社 夢前夢工房 代表取締役 衣笠 愛之さん

夢工房周辺の農地では4年後に大区画化を予定、実現すれば県内で最先端の農地になります。ICTやAIを利用した新しい農業が始まっていますし、企業との連携も視野に入れた柔軟な気持ちで農業に踏み出してほしいです。

所在地 〒671-2121
姫路市夢前町宮置909-1
電話 079-335-1411
FAX 079-335-1036
HP <http://www.y-yumekoubou.net>
事業内容 産物の生産・加工・販売、農業体験・農業研修・食育活動・レストラン・講演活動
設立 1999年
資本金 300万円
売上高 1億5000万円(年間)
従業員数 18名



インターンシップについて
農業高校生、大学生(学部は不問)対象
希望作物にあわせ、年間を通じて随時受け入れ。期間は1週間~1か月以上も可能
自宅から通えない人は研修生個室に滞在可(自炊)



私たちの思い

大切なお客さまに「最高」のしいたけをお届けできるよう、日々努力・工夫しています。食を通じて人と人をつなぎ、たくさんの笑顔を送りたいと思っています。

私たちのこだわり

菌床製造から栽培、販売までを一貫して行っています。しいたけの88%は水分で、水質が決め手。ハウスの先に民家はなく、清らかな湧き水でゆっくり、じっくり育てます。

おもな作物

「瀬戸内しいたけ」というブランド名で展開しています。大きくて、肉厚、ジューシーなしいたけが特長です。



外観



恵まれた立地を活かし 大きく肉厚なしいたけを栽培

夏にはホタルが舞い、秋にはコウノトリが飛来する相生市北部で1965年に創業。初代が原木栽培を、二代目がハウスでの菌床栽培を始め、代表取締役の深山陽一朗さんが引き継ぎました。100%国産木材のおがくずに瀬戸内の牡蠣(カキ)殻粉末を加えたブロック型の菌床に植菌。1つの菌床から出る芽の数を少なくすることで、肉厚で、大きなしいたけになります。ハウスは現在17棟、収穫量は1日最大1万個。朝夕2回収穫し、関西圏の百貨店や直売所などへ出荷。通常は産業廃棄物となる収穫後の菌床は、野菜作りの堆肥やカプトムシの資材などとして再利用されています。

働く人のINTERVIEW



芦田 智也さん(34歳)

アパレルの仕事からいちご栽培に転向したところ、蜂アレルギーを発症。施設園芸で探していたところ、しいたけと出会いました。品質を落とさず、どんな要望も満たすしいたけを作りたいです。



岡田 大輝さん(21歳)

兵庫県立佐用高等学校農業科学科出身です。このしいたけを食べたことがあり、求人を見て「おいしかったとこや」と転職を決めました。自分なりに考え、栽培を極めるのが夢です。

INTERVIEW OF TOP



しっかり考え、改善・改革。 機械にできないことを人の手で

深山農園株式会社 代表取締役 深山 陽一朗さん

祖父の代から、しいたけ一筋。マニュアル化、機械化を目指していますが、相手は生きもの。そう簡単ではありません。改善や改革を続けるプロセスを大切に、しっかり考え、機械にできないことをやってみてほしい。

所在地 〒678-0092
相生市矢野町小河854
電話 0791-29-0013
FAX 0791-25-7126
HP <http://fukayaman.com>
事業内容 しいたけ栽培・加工・販売
設立 2016年
資本金 500万円
売上高 8800万円(年間)
従業員数 28名



私たちの思い

牛の健康を第一に考え、牛のストレスを減らすことが高品質な牛乳につながると確信しています。そのための努力を惜しまず日々取り組んでいます。

私たちのこだわり

牛にとって、慣れ親しんだ限られた人の手による飼育もストレスを減らす効果があります。効率を上げながら高品質な牛乳の生産を増やすことが目標です。

おもな産品

年間約1200tの生乳をハイクオリティミルク農業協同組合を通じて雪印メグミルク株式会社神戸工場へ出荷。2019年春には牧場直営ジェラート店「TETE」を赤穂市中広にオープン予定。



外観



安全・安心な牛乳を食卓に。牛の健康を第一に、 効率化を考え抜き高品質な生乳を生産

JR赤穂線坂越駅から約2km、清流千種川のほとりに丸尾牧場があります。整然と配置され、清潔な牛舎には搾乳牛124頭、乾乳牛(母牛)10頭、生後5カ月未満の子牛30頭が飼育されています。丸尾牧場が大切にしていることは牛にストレスを与えない衛生的な環境。牛舎を夏の暑さから守る濡れないミスト(細霧)や香料メーカーと共同開発した糞臭を甘い匂いに変える「デオマジック」など。牛のストレスを減らす自動搾乳機「ミルキングパーラー(写真上段)」とともに新技術を導入することで質の高い生乳づくりを実現しています。また、コスト削減のために牧草(30ha)や飼料米(12ha)を自給栽培。良質な飼料も牛の健康に役立っています。

働く人のINTERVIEW



阿山 裕樹さん(36歳)

兵庫県立佐用高等学校農業科学科を卒業、佐用町の牧場勤務を経て2015年入社。乳房炎を早期に発見したり、治療できた時に達成感があります。家族的な雰囲気があり、従業員を大切にする職場でとても働きやすいです。



堀 愛美さん(23歳)

兵庫県立上郡高等学校農業科を卒業し2013年入社。免疫力が弱い子牛の世話が目に見え大変ですが、牛舎内を清掃して牛たちがうれしそうにしてくれると愛着が湧きます。ここではさまざまなことに挑戦できるのでやりがいを感じています。

INTERVIEW OF TOP



夢をもつ人を応援したい。高品質を 旗印に経営の効率化と酪農家の結束を

株式会社 丸尾牧場 代表者 丸尾 建城さん

安心・安全な高品質生乳の安定供給を確立するために、志をひとつにする県内の酪農家たちと共に2018年4月、「ハイクオリティミルク農業協同組合」を設立しました。「酪農産業を盛り上げたい」そんな夢をもつ若者を歓迎します。

所在地 〒678-0171 赤穂市高野281-1
電話 0791-48-7023
FAX 0791-48-7646
事業内容 生乳飼育、生乳販売
設立 2010年
(創業1956年)
資本金 300万円
売上高 1億9000万円(年間)
従業員数 正社員3名

インターンシップ
について
通年受け入れ可能。
時期や日数は問い
合わせください。



私たちの思い

代々受け継ぐ「稲と会話する」丁寧な米作りを実践しています。また、小さい子どもでも安心して食べられるよう、化学肥料を極力減らし米を育てています。

私たちのこだわり

地域に休耕地を作らない、田んぼを決して荒らさないことが昔からのポリシーです。近所から預かった田んぼの条件が悪くても、工夫して米を作り続けています。

おもな作物

米(80ha)、麦(15ha)、大豆(10ha)、小豆(5ha)です。米はコシヒカリ、キヌヒカリ、ヒノヒカリの3品種がメインで、他に約10品種を栽培しています。直売のほか、インターネットでも販売しています。



外観



過保護でもなく、放任でもなく 受け継いだ技で丁寧な米作りを

兵庫県の西端、澄んだ空気と清流に恵まれた上郡町北部の山あいに、計90haの田んぼがあります。代表取締役の原田和直さんは岡山県津山市出身で、祖父の代から米農家を営む妻の実家で白いごはんを食べて感動し、2006年に就農しました。2015年の法人化に合わせ三代目に、一日に何度も田んぼに足を運び、細やかな水の管理、こまめな草刈りなど一つひとつの作業を丁寧に行う。葉色や生育状況、病虫害などに目を光らせる。過保護でもなく放任でもなく絶妙な手加減で一。米をこよなく愛する二代目から受け継いだこれらの技で、年間約450tを生産しています。

働く人のINTERVIEW



高坂 昇矢さん(21歳)

神崎郡福崎町出身で、農家の祖父の米作りに憧れて、兵庫県立播磨農業高校に進学しました。農業を仕事にすると決め、共に農業に携わる仲間を増やす目的で兵庫県立農業大学校に進みました。ここに来て約半年。アットホームで働きやすく、社宅も

広くて居心地がいいです。学校で学んだことだけではとても足りなくて、教えてもらってなんとかやれているという感じ。現場で学ぶことのほうが圧倒的に多く、今はやるべきことをやるのに精一杯です。

INTERVIEW OF TOP



さらに経験を積み技を極め 「米ってうめえな」を届けたい

株式会社 杉本農産 代表取締役 原田 和直さん

実家は非農家で、ここの米を食べて「米ってうめえな」と感動したのが僕の原点です。就農して13年ですが、まだまだ修業中。多くの人に感動してもらえよう、若い人たちと共に経験を積み、技を極めていきたいです。

所在地 〒678-1202
赤穂郡上郡町野桑1446
電話 0791-54-0010
FAX 0791-54-0050
HP <http://sugimoto21.com>
事業内容 農業経営・有害鳥獣駆除・農産物の製造または加工販売
設立 2015年
資本金 100万円
売上高 9000万円(年間)
従業員数 9名(うちアルバイト1名)
※繁忙期はアルバイト3~4名増

インターンシップについて
年間を通じて随時受け入れ可。社宅あり。50歳以下で、学歴や経歴は不問



私たちの思い

肉本来の旨味が凝縮された「また食べたい。上郡町ふるさと納税の返礼品にも精肉を提供。地域の活性化に役立ててもらいたいと考えています。

私たちのこだわり

自然豊かな直営牧場で育てています。あえて機械化を急ぐのではなく、人手をかけて牛と向き合うことで出荷牛の枝肉格付けA5ランク率高水準という品質を実現しています。

おもな産品

黒毛和種の肉牛を年間約800頭出荷。本社に直売所を併設し精肉販売も行っています。



外観



長年の経験により子牛の血統を目利きし、 直営牧場で手間を惜しまず育てる

「赤穂市有年牛舎」「上月第1・第2牛舎」「三日月牛舎」の3カ所で直営牧場を営み、黒毛和牛の生産頭数では兵庫県下トップクラスの実績をもつ山上畜産。鹿児島など各地から生後9カ月の雌牛を買い付けて約20カ月肥育、約1800頭を兵庫県産和牛として育てています。肉質に対するこだわりは、創業時から数万頭を買い付けてきた経験に基づく子牛の選定から始まります。直営牧場では肥育牛が喜び快適な環境づくりとスケールメリットを生かしたコスト削減を実現。高水準の肉牛として卸売市場などから高い評価を獲得しています。

働く人のINTERVIEW



田辺 裕基さん(36歳)

兵庫県立佐用高等学校農業科学科を卒業。兵庫県立農業大学校を経て実家で繁殖農家をスタートさせ、縁あって当社に入社しました。何でも相談に乗ってくれる社長の人柄と、牛の評価で結果が分かるこの仕事が入っています。



平田 知行さん(31歳)

入社して10年になります。生き物を扱う仕事は、毎日一頭一頭の調子を見ながら手作業で世話をするので大変ですが、順調に育って出荷されるとやりがいを感じます。

INTERVIEW OF TOP



まじめに牛と向き合い、 育て上げる喜びを伝えたい

株式会社 山上畜産 代表取締役 山上 進さん

西播磨の豊かな自然の中で、牛が喜び快適な牛舎環境で育てることが良い肉質を生み出すことにもつながります。真摯に牛と向き合えばおのずと結果がついてくると考えます。夢を持つ若者に畜産のやりがいを伝えていきたいですね。

所在地 〒678-1231
赤穂郡上郡町上郡1455
電話 0791-52-1246
FAX 0791-52-4859
事業内容 肉牛肥育、精肉販売
設立 2017年(創業1975年)
資本金 1000万円
売上高 非公表
従業員数 9名

インターンシップについて
受け入れ可能。時期や日数は問い合わせください。



私たちの思い

土づくりにこだわり、心を込めて栽培した米や野菜は「おいしい・安全・安心」が自慢です。自分たちが納得できるものを作るために、日々稲や野菜たちとともに成長しています。

私たちのこだわり

地域の学生による農業体験を実施したり、お米を通じて農村と都市をつなぐさまざまなイベントを企画することで、地域内外の活性化に貢献していきたいと考えています。

おもな作物

米は但東町の豊かな自然の中で育てたコンヒカリとミルキークイーン。ピーマン、山うど、チューリップの球根も栽培しています。



外観



但 東町の農地・農業を守り、将来を担う若手後継者を育成

有限会社 あしたは、豊岡市但東町で2004年よりこだわりの農業を実践。自然に恵まれた但東町で、食の安全と環境への配慮を重視して、お米をはじめ特産のピーマン等さまざまな農作物を心を込めて育てています。化学肥料等にはなるべく頼らず、きれいな水、山里の昼夜の温度差や有機堆肥等の地域の資源を活用することで、「安全・安心・おいしい・生産者の顔の見える農業」をモットーにしています。但東町の農地・農業を守るために、新規就農者への農地の紹介等、若手育成にも力を入れています。

働く人のINTERVIEW



山田 将吾さん(31歳)

社員になって今年で12年です。一言でいうと、「農業は楽しい」です。農作物ができたときの充実感、体を動かす喜びがあります。農業を通じて季節の変化を感じられます。



三歩 大輝さん(27歳)

農業は学ぶことも多く、難しいこともあります。農地の条件によって対応が変わったり一筋縄ではいかないですが、いい農作物ができた時の達成感はすごいです。

INTERVIEW OF TOP



人と自然が共生し、作り手の顔が見える農業で若手を育成します

有限会社 あした 代表取締役 霜倉 和典さん

農業は農作物を育てるだけでなく人も育てます。私が事務局長を務める豊岡市農業スクールの活動等を通じて若手の後継者を誕生させていくことが目標です。地域農業者や新規就農者への協力を惜しまず「農家の応援団」でありたい。

所在地 〒668-0311
豊岡市但東町出合150
電話 0796-54-1133
FAX 0796-54-1134
HP <http://www.ashita2004.co.jp/>
事業内容 農作物の製造、販売
設立 2004年
資本金 1000万円
売上高 9600万円(年間)
従業員数 5名、非常勤2名



私たちの思い

ブランド和牛の人気の高まり、海外への輸出が多くなっている中、今の流行や商業ベースだけではなく日本の牛のルーツといっても過言ではない但馬牛ブランドを守っていきます。

私たちのこだわり

地元産のとうもろこしや牧草で飼料の自給率を上げ、より質のいい但馬牛の飼育を行っています。通常よりもはやく個体管理を行うことで牛の体調管理にも力を入れています。

おもな産品

繁殖牛120頭、肉牛60頭の但馬牛を飼育中。毎年、品評会に出す品位の高い出品牛の飼育も行い、数々の賞を受賞しています。



外観



昔 ながらの但馬牛をじっくり育てる

但馬地方は古くから牛の飼育が盛んで、但馬牛の産地として有名な地域です。但馬中井畜産は法人設立こそ2016年ですが明治から畜産を営んでいて、現在代表を務める中井勝さんで四代目です。但馬牛の肉は質・肉質が良いため、神戸牛、松阪牛や近江牛など多くのブランド和牛の素牛となっています。但馬中井畜産では5月下旬から10月末ごろまで、近くの4カ所の放牧場に分散させ昼夜放牧を実施。より良い環境での飼育を行っています。但馬牛ブランドを守るために「昔ながらの小柄だが、肉質、骨のしまり、毛並みのいい但馬牛」をじっくり育てることに力を入れています。

働く人のINTERVIEW



中井 崇泰さん(25歳)

1年間、同業他社での修行を経て、現在3年目。但馬牛はデリケートなため、機械やAIに頼るのではなく、人が経験を積み、目で見て、手で触れて育てていくものです。



田中 悠さん(21歳)

2018年春に兵庫県立農業大学校を卒業後、就農。但馬牛は兵庫の宝です。その但馬牛に毎日接し体調管理を行いながら育てていくことにやりがいを感じています。

INTERVIEW OF TOP



世界中で人気の和牛、飼育だけでなく世界情勢も勉強してほしい

株式会社 但馬中井畜産 代表 中井 勝さん

新温泉町では2017年4月から「地域おこし協力隊」事業に取り組んでいます。飼育技術や経営の研修、資金面などさまざまな新規就農サポートを行っています。牛の飼育はもちろん、ビジネス面もしっかりとした後継者を育てていきたい。

所在地 〒669-6832
美方郡新温泉町飯野1877-1
電話 0796-92-1173
FAX 0796-92-2511
事業内容 牛の繁殖、肥育一貫経営
設立 2016年
資本金 300万円
売上高 1億円(年間)
従業員数 正社員3名、パート2名



標高650mのおおや高原で有機栽培一筋

養父市

有限会社 アグリハイランド金谷



私たちの思い

人と自然にやさしい有機農業一筋。天候や病害虫、野菜の病気に悩まされながらもさまざまな工夫をし、安心・安全な野菜を消費者に届け続けています。

私たちのこだわり

標高650mの準高地に位置するおおや高原の夏が冷涼な気候を生かし、葉物野菜を栽培しています。牛ふん堆肥と有機肥料のみを使用し、化学薬品を不使用の有機栽培です。

おもな作物

冬は積雪のため4月～12月の期間だけ、有機野菜を出荷。ほうれんそう、みずな、こまつな、くうしんさいなどの葉物野菜とミニトマト。



外観



夏 場冷涼な気候を生かして 葉物野菜を栽培

おおや高原は兵庫県営農地域開発事業として1978年から、標高500m～700mの高原に農地が造成され、現在は約300棟のビニールハウスが並びます。この地にあるアグリハイランド金谷は、代表取締役の金谷智之さんが両親と一緒に農業を営み、2000年に法人化。合計33棟のビニールハウスで葉物野菜やミニトマトを有機農法で栽培しています。積雪が深いおおや高原は、冬場は農作業ができないため、1年間を通して農業ができるようにと、朝来市でもビニールハウス3棟で野菜栽培を始めました。新規就農者の技術支援や、社会福祉施設の作業所から研修生を受け入れるなど、多様な働き方を実践中です。

研修生のINTERVIEW



西村 武志さん(59歳)

社会福祉施設の作業所から週2回通っています。仕事は野菜の収穫や、収穫が終わった野菜の後片づけ、ビニールハウスの片づけなどを行っています。農作業は楽しいです。



西村 伸二さん(37歳)

西村さんと同じ作業所から週2回、来ています。もう16年もここで作業をしていて、一番のベテランです。肥料まきなどもしますよ。真面目に作業すると金谷さんにほめられます。

INTERVIEW OF TOP



消費者の「ありがとう」が喜び 後継者の指導も積極的

有限会社 アグリハイランド金谷 代表取締役 金谷 智之さん

おおや高原有機野菜部会の部会長として、有機野菜をみんなで盛り上げていきたい。おいしい農産物を作ると、消費者に感謝されるのが、農業の喜びです。積極的に研修生を受け入れ、技術だけでなくマネジメントも教えています。

所在地 〒667-0322
養父市大屋町525-1
電話 090-2286-3242
事業内容 農作物の生産、販売
設立 2000年
資本金 300万円
売上高 1700万円(年間)
従業員数 7名

インターンシップについて
大屋中学校からトライやるウィークで1週間、
但馬農業高校から夏季実習を1週間受け入れ



丹波の自然に育まれた卵を軸に6次産業化事業展開

丹波市

株式会社 芦田ポトリ



私たちの思い

丹波の自然に育まれた鶏の卵はおいしくて濃厚。卵の生産を通じて、食の魅力と大切さを伝えたいとの思いで、さまざまな事業を展開しています。

私たちのこだわり

風通しの良い開放鶏舎で、健康な鶏を育て、安心しておいしく食べられる卵を生産しています。餌は遺伝子組み換えでない、とうもろこしや大豆粕を主原料としています。

おもな産品

開放型ケージ鶏舎(1万羽)と平飼い鶏舎(1000羽)で鶏卵を生産。自社卵のスイーツや総菜の製造販売、自社鶏のハム・ソーセージ販売を行っています。



外観



こだわり卵で菓子や総菜の製造販売も 卵をメインに循環型農業を実現

芦田ポトリの平飼い鶏舎は丹波市氷上町の旧幸世村地区に、開放型ケージ鶏舎は市島町にあります。実家が鶏卵問屋だった芦田昭也さんは、1990年に養鶏業を始め2012年に法人化。鶏卵製造のほかに、こだわりの卵を使った菓子や総菜の製造販売や平飼い鶏を委託加工して、鶏肉加工品の販売にも実績を積み重ねています。2017年に堆肥舎を完成させ、発酵鶏糞堆肥の製造販売、さらに自家製堆肥を使つての米・野菜の製造販売など事業の幅を広げる取り組みを行っていて、循環型農業につなげています。鶏卵や菓子、総菜は現在、生協などを通じての販売が大半となっており、直売所の開設を目指しています。

働く人のINTERVIEW



関 美絵子さん(46歳)

神戸でパイヤーをしていました。6次産業化に興味があり、社長に頼み込んで丹波へ。自由な発想を社長に採用してもらえ、農業に本気で興味があると、おもしろい職場です。



堂本 瑞葉さん(26歳)

パティシエとして受発注から在庫管理、菓子製造と、一貫しての作業を経験させてもらっています。自分で考えたクッキーなどを商品化してもらい、うれしいです。

INTERVIEW OF TOP



農家と消費者をつなぐ窓口に 農業経営者を育てたい

株式会社 芦田ポトリ 代表取締役社長 芦田 昭也さん

作る側の農家と(食べる側の)消費者の繋がりを目的に、農家食堂のようなものをこの地域に作りたいと思っています。新規就農者には、経営者として人件費をきちんと出せる農業ができるように育てていきたい。

所在地 〒669-3645
丹波市氷上町鴨内967
電話 0795-88-9800
FAX 0795-88-9801
HP <http://ashidapoultry.jimdo.com>
事業内容 養鶏業、鶏卵販売、菓子・総菜の製造・販売、
鶏肉加工品販売
設立 2012年
資本金 300万円
売上高 9300万円(年間)
従業員数 9名

インターンシップについて
毎年夏に兵庫県立氷上高校
と関西大学からの研修生を
約1週間受け入れ



丹波市
株式会社 丹波たかみ農場



私たちの思い

安心・安全で、おいしくて栄養価のある農産物を有機栽培しています。ジャパン バイオファームが提唱するBLOF理論をベースに、作物に良い環境づくりをしています。

私たちのこだわり

人の勤に頼るのではなく、ITを使って土壌をデータ分析し、その結果に基づいて肥料を入れ、土壌のバランスを整えます。ITを活用し、理論的な有機栽培を実践しています。

おもな作物

米はコシヒカリ有機栽培とコシヒカリ特別栽培。丹波大納言小豆、丹波黒大豆、有機にんじんを栽培。にんじんジュース(丹波にんじん搾り)の販売も手掛けています。



しっかりした土づくりで
おいしく、栄養価の高い有機農産物を

丹波市の北東部、有機の里いちじま。として知られる市島町。丹波たかみ農場代表の高見康彦さんは2003年に父親の農場の後継者として、同町で就農。就農後、JAS有機栽培で高品質・おいしさ・高栄養価・多収穫を目指すBLOF理論を学び、土地分析によって肥料計画をし、バランスの取れた土づくりをしっかりと行っています。

2018年5月に法人化。水稲と豆類やにんじんと輪作体系により、除草効果を高める除草対策を実践。今後は常時雇用を増やし、水稲と黒大豆・大納言小豆をバランスよく増やしていく予定です。

新入社員 INTERVIEW



荒田 夢芽さん(19歳)

兵庫県立農業大学の2年生で、春から丹波たかみ農場で働きます。農業に全く無縁の尼崎で育ちました。小学校のときに学校の課題でミニトマトを育て、それを家族がおいしいと食べてくれたことが、農業に関心を持ったきっかけです。有機栽培がした

くて、大学の先生に「丹波の市島は有機に特化している」と教えてもらいました。自分で丹波市役所に電話したところ、丹波たかみ農場を紹介していただきました。高見さんから技術を学び蓄えて、おいしい有機米と有機野菜の役に立ちたい。

外観



INTERVIEW OF TOP



若手農業者のネットワークを大切に
丹波市産有機農産物を増やしたい

株式会社 丹波たかみ農場 代表者 高見 康彦さん

地元農業高校・鯉淵学園を卒業後、11年間JA丹波ひかみに勤務しました。若手農業者で作る研究会の活動など、地域のネットワークを大切に、丹波市産の有機農産物を増やしたい。研修生も受け入れており、5名が独立しました。

所在地 〒669-4335
丹波市市島町与戸1076
電話 0795-85-1912
FAX 0795-85-1912
事業内容 農作物の生産、販売、加工品販売
設立 2018年
資本金 500万円
売上高 3600万円(年間)
従業員数 3名、繁忙期パート2名

丹波市
農業生産法人 丹波リーフ株式会社



私たちの思い

安心・安全で、新鮮なベビーリーフを消費者に届けたいという思いを胸に、チャレンジと試行錯誤を続けています。いくつになってもワクワクする農業を目指しています。

私たちのこだわり

土耕栽培にこだわっています。土地の特性を理解した上で、有機肥料鶏糞、牛糞堆肥、酵素液肥を使って、野菜に適した土作りを行い、味の濃いベビーリーフを育てています。

おもな作物

ベビーリーフ、レタスなどを栽培しています。



ふかふかの土地で育ったベビーリーフ
手摘みで収穫し、新鮮なまま出荷

兵庫県のほぼ中央に位置する丹波市。丹波リーフは昼夜の寒暖差が大きな気候と、地下約70mから湧き出るきれいな深層水を利用し、ベビーリーフを栽培しています。

代表取締役の堂本憲造さんは27年間勤務した全農兵庫を退職直後、2011年4月に丹波リーフ株式会社を弟の幸信さんとともに設立しました。現在はビニールハウス85棟、スタッフは、カンボジアからの技能実習生8名を含む20名に。ふかふかの土地ですくすくと育ったベビーリーフは、丁寧に手で摘みとられ、すぐに包装されて、新鮮なまま出荷されます。今後は6次産業化に向け、ラディッシュや新しい品種を増やす予定です。

外観



働く人の INTERVIEW



瀧 加奈子さん(41歳)

事務方として、受注量に応じてベビーリーフの成長を見ながら収穫の適期を判断し、収穫の指示を出しています。注文に応えられるよう、成長具合をいつも気にかけています。



リー・セレイモンムさん(23歳)

カンボジアからの実習生で、2016年3月に来日しました。社長や瀧さんの指導で、楽しく仕事をしています。カンボジアの実家は農業なので、帰国したらベビーリーフを育てたい。

INTERVIEW OF TOP



元気な田舎を取り戻したい
田舎に合う産業はやはり農業

丹波リーフ株式会社 代表取締役 堂本 憲造さん

耕作放棄地・少子高齢化・空き家問題など、元気のない田舎の再生は、田舎に合う産業、つまり農業が担っていかなくては。農業で元気な田舎を取り戻したい。そのためには、農業が大好きな若い人の力が必要です。私と一緒にチャレンジしませんか。

所在地 〒669-3157
丹波市山南町和田1058
電話 0795-76-1188
FAX 0795-76-1189
HP <http://www.tanbaleaf.com/>
事業内容 ベビーリーフ・レタスの栽培・販売
設立 2011年
資本金 300万円
売上高 2億円(年間)
従業員数 20名





私たちの思い

おいしいものを作っていきたいという思いが一番です。この今田町釜屋は中山間地で日照時間が少ないため、味がしっかりとした米や野菜が作れます。

私たちのこだわり

水稲と黒大豆、大納言小豆、なたまめなど、丹波篠山の米と野菜を守っていきたいと思っています。特別栽培米など、できるだけ農薬を使わないように、工夫しています。

おもな作物

特別栽培米、黒大豆(枝豆も含む)、大納言小豆、なたまめ、自然薯、山の芋、さといも、ねぎなど。



外観



寒 暖差の大きな中山間地 今田町の農業を守りたい

丹波焼の里として知られる今田町。株式会社 丹波篠山岸本農場の岸本一朗さんは1997年に丹波農業協同組合を退職し、兼業農家から専業農家として独立。2018年3月には法人化することをきっかけに、長男の修一さんがUターンして就農しました。寒暖差の大きな中山間地で、水稲と黒大豆を中心とした豆類、山の芋や自然薯などの芋類といった丹波篠山の特産品を中心に栽培。その他、6次産業としてなたまめ茶などの販売にも取り組んでいます。地域の担い手の一つとして、農地の引き受けや農作業の受託をしており、現在水稲は12町、豆・野菜類を8町の規模で営農。新規就農希望2名も研修として受け入れています。

働く人の INTERVIEW



岸本 修一さん(32歳)

大学を卒業後、東京で9年間食品卸売企業で営業を経験し、2018年8月に故郷である篠山に戻り就農。サラリーマンの経験を活かして、地域の農業発展に貢献したいと考えています。何かを育てるという農業(一次産業)は思い通りには行かないからこ

ろ、やりがいがあり、作物を育てる中で大きな喜びを感じることができる仕事だと思います。そして時代や環境の変化が速い中でも変わることのない、お客様の心に届くようなおいしい作物を作りたいです。

INTERVIEW OF TOP



「おいしい」という感動を届けたい

株式会社 丹波篠山岸本農場 代表取締役 岸本 一朗さん

自然相手なので、毎年気候に合わせて状況判断をしないといけない。長年農業をする中で感じることは、*毎年が1年生。だということ。その中でも地区の仲間と協力して農業を守り、切磋琢磨して発展していくことが大切です。自分たちの作ったお米や野菜で一人でも多くの人に「おいしい」という感動をお届けできればと思います。

所在地 〒669-2143
篠山市今田町釜屋414
電話 079-597-2025
FAX 079-597-2025
事業内容 農作物の生産、販売。
加工品の生産、販売
設立 2018年
資本金 100万円
売上高 3200万円(年間)
従業員数 2名、非常勤2名



私たちの思い

「日本一おいしい淡路島たまねぎを作りたい」という思いで数々の挑戦を重ね、甘くて肉厚でやわらかな食感のたまねぎを栽培しています。

私たちのこだわり

自社ブランド「蜜玉(みつたま)」は、有機肥料100%で育てた、特別栽培の淡路島たまねぎ。その土作りや肥料へのこだわりは、毎年研究し、進化させ続けています。

おもな作物

たまねぎのほか、レタス、とうもろこしを栽培しています。



外観



自 社ブランドたまねぎを「蜜玉」と商標登録 毎年進化する、「蜜玉」のこだわり

淡路島の南、三原平野で主にたまねぎを栽培している2525(ニコニコ)ファーム 淡路島希望食品有限会社。平均年齢30歳にも満たない若者の集団です。2012年代表取締役迫田瞬さんが前職の会社から資金援助を得て、南あわじ市で会社を立ち上げ、55aの畑でたまねぎ作りを始めました。全くの素人からのスタートですが、設立当初から他と差別化した商品作りを意図し、2016年7月には自社で栽培するたまねぎを、「蜜玉」として商標登録しました。主に百貨店やスーパーに出荷し、全国展開しています。土作りや肥料の研究を重ねて生まれた「蜜玉」は、さらに栽培方法を毎年進化させています。

働く人の INTERVIEW



井川 翼さん(29歳)

社長にほれ込んで、4年前に営業マンから転職しました。農業はノーストレス。農業は辛いというマイナスイメージを払拭したくて、魅力をSNSで情報発信中です。



木谷 芽生さん(24歳)

奈良出身です。農業が好きで吉備国際大学農学部(南あわじ市)へ進み、淡路島で就農。この三毛作の農業に憧れが強いですね。独立できるだけのスキルは身に付けておきたい。

INTERVIEW OF TOP



農業だけでなくマルチに働ける人材を育てたい フェイスブックで農園情報を毎日発信中

淡路島希望食品有限会社 代表取締役 迫田 瞬さん

マルチに働ける人材を育てていきたい。井川が情報発信に力を入れているように、農業だけでなく、いろいろな仕事に関わっていきける環境づくりに力を入れています。フェイスブックは3年前ぐらいから毎日発信し、好評です。

所在地 〒656-0456
南あわじ市神代地頭方1225
電話 0799-20-4301
FAX 0799-20-4302
HP https://2525farm.com
事業内容 農作物の生産、販売
設立 2012年
資本金 800万円
売上高 5740万円(年間)
従業員数 3名、非常勤5名





私たちの思い

但馬牛は兵庫県但馬地方の人たちが育み築き上げてきた、兵庫の宝です。現在では過半を淡路島で生産しており、価値ある但馬牛を後世へ引き継ぐのが役目と考えています。

私たちのこだわり

但馬牛の評価がさらに高まっている中で、研究者が改良したことを現場にフィードバックして飼育方法を工夫し、おいしい牛肉を作るために技術を高めたいと、日々努力しています。

おもな産品

繁殖牛150頭を含む480頭の和牛を、周年放牧をしながら8棟の牛舎で飼育。15haの草地での飼料作物の生産、完熟堆肥の製造販売をしています。



外観



繁殖から肥育までの肉用牛の一貫経営 おいしい牛肉を作りたい

北淡路肉用牛生産組合は淡路島の北部、明石海峡を遠望できる丘陵にあります。代表理事の沼田康宏さんは、畜産農家の二代目。父親が南あわじ市で酪農を営んでいましたが、高度成長期に肉用牛肥育も。1976年淡路市に最初の牛舎を建て、1980年法人化。1986年・87年頃は乳オス、F1(交雑種)を含めて1200頭飼っていました。乳オス、F1(交雑種)の子牛の減少などのため、和牛へと移行。2011年には和牛一本に絞り、繁殖から肥育までの一貫経営。分娩間隔を短くしたり子牛の事故を減らすなど、生産性を高めることを追求。消費者に納得してもらえるおいしい牛肉作りを目指します。

働く人のINTERVIEW



沼田 剛志さん(26歳)

北海道の酪農学園大学を卒業後、美方郡で研修し、4月からこの組合で働きます。繁殖牛を150頭から200頭に、総頭数を600頭に増やすのが近い将来の目標。若者が興味を持つ畜産をしたい。



神野 高至さん(44歳)

実家は繁殖農家ですが、本格的に畜産に関わって12年になります。牛が好きだと楽しい仕事ですよ。種付け・出産などの技術を高めていきたいと思っています。

INTERVIEW OF TOP



人にも牛にもやさしい環境づくり 環境保全に力を入れ地域貢献も

農事組合法人 北淡路肉用牛生産組合 代表理事 沼田 康宏さん

牛の居心地が良い牛舎で従業員が働きやすい職場を整えること、人にも牛にもやさしい環境作りが課題です。近くで耕作放棄地が増えているので放牧地に利用するなど、農地保全にも力を入れて、地域に役立ちたいですね。

所在地 〒656-2301
淡路市楠本1144-1
電話 0799-74-4951
FAX 0799-74-4951
事業内容 肉用牛の一貫生産
設立 1980年
出資金 16万円
売上高 1億7000万円(年間)
従業員数 6名



三田市 丸永株式会社

おもな産品 三田ポーク(豚肉、豚肉加工品)

畜産飼料の販売で培ったノウハウを武器に、自社農場で生産したオリジナルブランド豚を加工、販売。



所在地 〒669-1514 三田市川除150-1
電話 079-564-6000
FAX 079-564-6008
HP http://marunaga-feeds.co.jp
事業内容 畜産用飼料の販売、養豚、養鶏、直営農場で生産した畜産物販売
設立 1965年 資本金 2500万円 従業員数 65名



加東市 株式会社 こうせつ・たなか

おもな作物 醸造用玄米、水稲うるち玄米

米の生産から集荷、玄米とう精、販売までトータルに行っています。



所在地 〒673-1311 加東市天神194
電話 0795-47-0033
FAX 0795-47-0260
事業内容 卸売業、小売業、農業サービス
設立 2003年 資本金 1500万円 従業員数 9名



多可郡多可町 株式会社 あぐりたか

おもな作物 水稲(コシヒカリ、きぬむすめ、山田錦など)、黒大豆、たまねぎなど

豊かな自然ときれいな水がある環境で、安心安全、白くておいしく、コストパフォーマンスのよいお米を栽培。



所在地 〒677-0121 多可郡多可町八千代区中野間755
電話 0795-37-0233
FAX 0795-37-1393
HP https://agritaka.co.jp
事業内容 米・農作物販売、農作業受託、農地整備
設立 2016年 資本金 100万円 従業員数 3名



姫路市 株式会社 香寺ハーブ・ガーデン

おもな作物 カモミール、桑、ナツメ、クコ、メグスリノキ

農業や除草剤を使用せず、共生の論理を利用した自然と環境に配慮した形でハーブを栽培。ハーブを使った食品や化粧品を生産・販売。



所在地 〒679-2155 姫路市香寺町矢田部689-1
電話 079-232-7316
FAX 079-232-7306
HP http://www.koudera-herb.com/
事業内容 ハーブの栽培、関連商品生産・加工・卸し、小売り。ハーブエキスを生産・販売。農家レストラン運営
設立 2001年 資本金 14万円 従業員数 27名



姫路市 有限会社 村上ポर्टリー

おもな作物 食米、酒米、飼料用米、小豆、その他野菜

自社養鶏場製造の高酵素鶏糞堆肥を、土づくりから利用し、農業と化学肥料を極力減らした循環型農業を実践。



所在地 〒671-2103 姫路市夢前町前之庄1627
電話 079-336-1505
FAX 079-336-3820
HP https://fujihashiya-murakami.com/
事業内容 養鶏業、農業
設立 1988年 資本金 1000万円 従業員数 40名



姫路市 株式会社 田中牧場

おもな産品 交雑種、但馬牛(神戸ビーフ、プレミアム姫路和牛のブランド牛)

おいしく安全、安心な肉牛を愛情と細心の心配りで育てています。



所在地 〒670-0036 姫路市山畑新田371-2
電話 079-293-6528
FAX 079-293-6528
事業内容 肉牛肥育
設立 2017年 資本金 300万円 従業員数 5名



赤穂市 有限会社 米ログリーンナーセリー

おもな作物 花・野菜のポット苗、たまねぎ苗、水稲、さつまいも

消費者のニーズに応えられる商品作りを目指しています。現在、収穫したさつまいもを自社加工し、干し芋生産しています。



所在地 〒678-0165 赤穂市木津334
電話 0791-48-0786
FAX 0791-48-1184
事業内容 花苗・野菜苗・水稲・さつまいもなど、農作物の生産、直売、卸し
設立 1995年 資本金 500万円 従業員数 33名



赤穂市 株式会社 デイリーエッグ

おもな産品 鶏卵

自社農場で鶏から一貫して育て管理することで、トレーサビリティシステムによる生産履歴の追跡が可能になり、安心安全な商品を提供。



所在地 〒678-1185 赤穂市東有年1650
電話 0791-49-2858
FAX 0791-49-3668
HP http://dailyegg.com/
事業内容 養鶏業(殻付き卵・液卵・肥料の製造販売)
設立 1970年 資本金 6000万円 従業員数 180名



佐用郡佐用町 株式会社 山本営農

おもな作物 水稲、麦、豆類(小豆、黒大豆など)、そば、ひまわり、野菜

水稲はコシヒカリ、キヌヒカリなど、野菜はキャベツ、ブロッコリー、ロハネスコと多岐にわたる作物を手掛けています。



所在地 〒679-5205 佐用郡佐用町安川896
電話 0790-78-1087
FAX 0790-78-1085
事業内容 農産物の生産、販売。農作業の受託
設立 2017年 資本金 500万円 従業員数 6名

佐用郡佐用町 株式会社 みかづきe

おもな作物 有機減農薬の水稻、大豆、小豆

水稻と大豆・小豆を栽培し、加工品を姫路城近くのセレクトショップ「重次郎・JYUJIRO-」で販売しています。

所在地：〒679-5131 佐用郡佐用町上本郷363
電話：0790-79-9270
FAX：0790-79-9270
事業内容：農産物の生産・販売、加工品の直売
設立：2002年 資本金：50万円 従業員数：4名

佐用郡佐用町 東徳久地区農事組合法人

おもな作物 水稻、野菜、麦、大豆、ひまわり、粟草

水稻のほか、野菜、麦など多岐にわたって栽培しています。

所在地：〒679-5213 佐用郡佐用町東徳久2358
電話：0790-78-1970
FAX：0790-78-1971
事業内容：農産物の生産・販売
設立：2002年 資本金：113万円 従業員数：22名

相生市 株式会社 百姓

おもな作物 水稻、たまねぎ

自家製堆肥で米やたまねぎを栽培しています。

所在地：〒678-0092 相生市矢野町上土井938-1
電話：0791-29-1868
FAX：0791-29-1868
事業内容：農産物の生産・販売
設立：2009年 資本金：300万円 従業員数：2名

たつの市 株式会社 J・McCoy

おもな作物 水稻・小麦・白大豆・黒大豆・小豆・れんこん・ブルーベリー

人に喜びを与え、必要とされる企業「家族や友達に話したくなる仕事をしよう!!」を合言葉に、スタッフ一同頑張っています。

所在地：〒679-4343 たつの市新宮町大屋387-1
電話：0791-75-2217
FAX：0791-75-2342
HP：http://www.uedanouen.net/
事業内容：農産物の生産・加工・販売
設立：2016年 資本金：100万円 従業員数：7名

たつの市 株式会社 ささ営農

おもな作物 米、バジル

米は兵庫県産の認証食品に認証され、おいしいお米作りに励んでいます。バジルも「安心ブランド」の基準で安心・安全を確保栽培。

所在地：〒679-4304 たつの市新宮町下巻1049
電話：0791-77-0177
FAX：0791-77-1770
HP：https://www.sasaeinou.com/
事業内容：農業・加工場・工房・直売所・機械修理
設立：2006年 資本金：3000万円 従業員数：正規社員 11名、非正規社員 30名

宍粟市 一般財団法人 宍粟北みどり農林公社

おもな作物 米、大豆

地域の農業の維持発展と活性化を図るため、米と大豆の栽培を行っています。

所在地：〒671-4144 宍粟市一宮町下野田63-1
電話：0790-72-1720
FAX：0790-72-2430
HP：http://shisokita-nourin.or.jp
事業内容：農業経営事業、農作業受託事業
設立：1994年 資本金：1億2125万円 従業員数：8名

美方郡香美町 美方ファーム株式会社

おもな産品 但馬牛

美方郡産の但馬牛を約300頭、繁殖と肥育の一貫生産を行っています。

所在地：〒667-1314 美方郡香美町岡区萩山178-2
電話：0796-98-1522
FAX：0796-98-1527
HP：https://www.zentanbus.co.jp/mikata-farm/
事業内容：但馬牛の繁殖と肥育
設立：2011年 資本金：200万円 従業員数：7名

美方郡香美町 株式会社 上田畜産

おもな産品 但馬牛

*自然に育てる。をモットーに、但馬牛約1000頭を、繁殖から肥育まで一貫生産し、精肉の販売も行っています。

所在地：〒667-1511 美方郡香美町小代区神水738
電話：0796-97-2929
FAX：0796-97-2915
HP：https://gyusho-ueda.co.jp/
事業内容：但馬牛の繁殖と肥育、精肉販売
設立：2009年 資本金：非公表 従業員数：15名

美方郡香美町 株式会社 ナナ

おもな作物 夏いちご

近畿地区で最初に栽培に成功した兵庫県産夏いちごです。

所在地：〒667-1342 美方郡香美町岡区口大谷922
電話：090-1441-1362
FAX：0796-96-0777
事業内容：夏いちごの生産・販売
設立：2007年 資本金：800万円 従業員数：7名

美方郡新温泉町 株式会社 湯村温泉愛宕山観光

おもな作物 水稻(コシヒカリ)

低農業で水稻(コシヒカリ)を行っています。3年前から自社ブランドの酒造りも行っています。

所在地：〒669-6813 美方郡新温泉町丹土1033
電話：0796-92-1005
FAX：0796-92-1006
HP：http://www.bokujyo.com/
事業内容：宿泊、レストラン、スキー場経営と営農
設立：1972年 資本金：4500万円 従業員数：5名

丹波市 有限会社 ワタミファーム 丹波農場

おもな作物 にんにく、たまねぎ、レタス、だいこん

有機JAS、JGAPの取得を行い、環境配慮や循環型社会を目指し、おいしい野菜の栽培をしています。

所在地：〒669-4314 丹波市市島町南1105-1
電話：0795-80-3011
FAX：0795-80-3010
HP：http://www.watamifarm.co.jp/
事業内容：野菜、加工品の生産、販売など
設立：2013年 資本金：300万円 従業員数：14名

丹波市 神戸高見牛牧場株式会社

おもな産品 神戸高見牛(但馬系黒毛和種)

生産者が見える独自ブランド牛「神戸高見牛」の生産から精肉販売まで手掛けています。

所在地：〒669-4332 丹波市市島町勅使1037-4
電話：0795-85-2914
FAX：0795-85-4060
HP：http://takamibeeef.com/
事業内容：畜産・食肉加工・販売・飲食・牛用初乳販売・その他農業に係る全般
設立：2015年 資本金：1000万円 従業員数：16名

丹波市 株式会社 パブリック・キッチン

おもな作物 有機野菜

有機農業で生産した農産物を東京・大阪・兵庫の自社直営店(カフェ)で提供しています。

所在地：〒669-4132 丹波市春日町野村2032
電話：0795-74-0550
HP：https://pkp.co.jp/
事業内容：有機農産物の生産・加工・販売、直営店(カフェ)運営
設立：2011年 資本金：1000万円 従業員数：15名

丹波市 株式会社 竹岡農園

おもな作物 露地野菜、大納言小豆、丹波黒大豆

無農薬・無化学肥料、酵素肥料で栽培し、循環農法を実践しています。

所在地：〒669-3131 丹波市山南町谷川12787-1
電話：0795-71-1240
FAX：0795-71-1240
HP：http://www.takeokafarm.com/
事業内容：農産物の生産・加工、農家民宿、酵素風呂、飲食事業
設立：2018年 資本金：200万円 従業員数：5名

丹波市 有限会社 こやま園

おもな作物 丹波なた豆

オリジナルの種子による丹波なた豆を栽培。農産・加工共に有機JAS認証を取得。原料の栽培から加工、販売まで一貫して行っています。

所在地：〒669-4141 丹波市春日町黒井1972
電話：0795-74-2152
FAX：0795-74-0058
HP：http://kyme.jp/
事業内容：丹波なた豆の栽培、丹波なた豆茶の製造・販売
設立：2006年 資本金：300万円 従業員数：9名

篠山市 株式会社 丹波篠山大内農場

おもな作物 水稻、丹波黒大豆・黒枝豆

枝豆狩りなどの農業体験を通じて「楽しい」と「おいしい」を届けます。

所在地：〒669-2163 篠山市今田町本柱395
電話：079-597-2517
FAX：079-597-3519
HP：http://oouchi-farm.com/
事業内容：農業生産・作業受託・観光農園
設立：2008年 資本金：150万円 従業員数：9名

問い合わせ先

● (一社) 兵庫県農業会議・ひょうご就農支援センター 就農相談窓口

相談日 月曜～金曜(祝祭日、年末年始(12/29～1/3)を除く)

相談時間 9:00～11:00、13:00～16:00(事前に電話で予約をお願いします)

交通 JR元町駅・阪神元町駅から徒歩5分、神戸市営地下鉄新前駅から徒歩2分

● 兵庫県農政環境部農政企画局 農業経営課(担い手対策班)

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL:078-362-3406 FAX:078-362-9394
https://web.pref.hyogo.lg.jp/org/nogyokeiei/



HYOGO AGRICULTURAL CORPORATION
GUIDE BOOK

発行 兵庫県農業経営法人化推進協議会

(一社) 兵庫県農業会議・兵庫県農政環境部

